

2022年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年4月11日

東・名

上場会社名 株式会社進和 上場取引所
 コード番号 7607 URL <https://www.shinwa-jpn.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 根本哲夫 (TEL) 052-796-2533
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室長(氏名) 三輪誠司
 四半期報告書提出予定日 2022年4月12日 配当支払開始予定日 2022年5月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第2四半期の連結業績(2021年9月1日~2022年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第2四半期	37,162	29.4	2,883	60.5	3,006	64.2	2,021	66.7
2021年8月期第2四半期	28,717	△22.8	1,796	△30.2	1,831	△27.6	1,212	△29.5

(注) 包括利益 2022年8月期第2四半期 2,428百万円(67.8%) 2021年8月期第2四半期 1,447百万円(△16.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第2四半期	151.36	—
2021年8月期第2四半期	90.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第2四半期	61,864	33,920	54.6
2021年8月期	56,905	31,951	56.0

(参考) 自己資本 2022年8月期第2四半期 33,797百万円 2021年8月期 31,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	35.00	—	37.00	72.00
2022年8月期	—	37.00	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	—	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日~2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	9.5	4,300	7.4	4,400	6.3	3,000	8.4	224.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年8月期2Q	14,415,319株	2021年8月期	14,415,319株
2022年8月期2Q	1,051,177株	2021年8月期	1,065,104株
2022年8月期2Q	13,356,403株	2021年8月期2Q	13,342,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(時価の算定に関する会計基準等の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率の上昇や行動制限の緩和等により、企業の生産活動や個人消費に持ち直しの動きが見られましたが、新たな変異株の感染再拡大により、依然として先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主要ユーザーである自動車業界におきましては、コロナ禍から回復基調ではあるものの、世界的な半導体不足の長期化や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う部品の調達難により、減産を余儀なくされました。設備投資については、日本国内では厳しい状況が続きましたが、海外では中国を中心に総じて堅調に推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループにおきましては、受注済みの大型プロジェクトを着実に進めるとともに、今後急拡大が見込まれる車載電池市場のニーズに対応するため、本年2月に電池部品開発課を設置するなど、業容の拡大に取り組んで参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は371億62百万円（前年同期比29.4%増）、経常利益は30億6百万円（前年同期比64.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億21百万円（前年同期比66.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①日本

主に日系自動車部品メーカー向けに溶接設備・材料の売上が増加したことや中国の半導体・エレクトロニクスデバイスメーカー向けに自社製品の精密塗布装置の売上が大きく伸長したことにより、売上高は274億77百万円（前年同期比14.3%増）、セグメント利益は16億11百万円（前年同期比41.1%増）となりました。

②米国

メキシコの日系自動車メーカー向け生産管理システムの売上計上や日系自動車メーカー・同部品メーカー向けに溶接材料の売上が堅調に推移したことなどにより、売上高は28億円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益は1億24百万円（前年同期比140.1%増）となりました。

③東南アジア

タイでは日系自動車メーカー向けおよび日系空調機器メーカー向け生産設備の売上を計上したことや、インドネシアでは日系自動車メーカー向けに溶接設備・材料の売上が伸長したことなどにより、売上高は22億59百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益は2億38百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

④中国

日系自動車メーカー向けに生産工場能力増強に伴う生産設備（二つの大型プロジェクト）の売上を計上したことなどにより、売上高は98億49百万円（前年同期比146.3%増）、セグメント利益は9億95百万円（前年同期比150.3%増）となりました。

⑤その他

チェコの日系自動車メーカー向けに生産管理システムの売上等を計上しましたが、売上高は2億73百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益は19百万円（前年同期比50.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、618億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億58百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ46億70百万円増加し、522億26百万円となりました。これは主に商品及び製品が10億96百万円、原材料及び貯蔵品が3億32百万円、前渡金の減少等により流動資産のその他が10億22百万円減少しましたが、現金及び預金が37億89百万円、受取手形及び売掛金が17億33百万円、電子記録債権が1億56百万円、仕掛品が14億42百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2億88百万円増加し、96億38百万円となりました。これは主に有形固定資産が91百万円減少しましたが、無形固定資産が2億25百万円、投資その他の資産の投資有価証券が1億55百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ28億89百万円増加し、267億79百万円となりました。これは主に電子記録債務が1億44百万円、短期借入金が11億97百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が1億74百万円、未払法人税等が3億71百万円、前受金が33億56百万円、引当金が32百万円、未払消費税等の増加等により流動負債のその他が2億97百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、11億63百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ19億69百万円増加し、339億20百万円となりました。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.0%から1.4ポイント低下し54.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ7億86百万円増加し、153億53百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、57億98百万円（前年同期は20億72百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加額16億53百万円、仕入債務の減少額2億30百万円により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益30億5百万円、前受金の増加額30億1百万円により資金が増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、34億97百万円（前年同期は40億85百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入1億8百万円により資金が増加しましたが、有形及び無形固定資産の取得による支出5億12百万円、定期預金の預入による支出30億96百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、17億42百万円（前年同期は2億51百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純減額12億24百万円、配当金の支払額4億93百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月期の連結業績予想につきましては、2021年10月11日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,879,840	18,669,736
受取手形及び売掛金	10,325,109	12,058,550
電子記録債権	5,688,652	5,844,786
商品及び製品	10,749,453	9,652,974
仕掛品	1,777,287	3,219,957
原材料及び貯蔵品	929,745	597,218
その他	3,209,892	2,186,958
貸倒引当金	△3,863	△3,879
流動資産合計	47,556,118	52,226,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,075,390	2,043,736
その他(純額)	4,447,625	4,387,493
有形固定資産合計	6,523,016	6,431,229
無形固定資産		
のれん	47,821	38,257
その他	388,601	623,310
無形固定資産合計	436,423	661,567
投資その他の資産		
投資有価証券	2,063,807	2,219,571
その他	328,258	327,712
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	2,390,290	2,545,508
固定資産合計	9,349,730	9,638,305
資産合計	56,905,848	61,864,608
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,546,694	10,720,841
電子記録債務	3,649,457	3,505,075
短期借入金	1,197,700	—
1年内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払法人税等	525,017	896,214
前受金	6,752,169	10,108,502
引当金	302,989	335,718
その他	896,452	1,193,501
流動負債合計	23,890,473	26,779,846
固定負債		
長期借入金	13,408	5,078
退職給付に係る負債	32,241	29,750
その他	1,018,517	1,129,069
固定負債合計	1,064,166	1,163,897
負債合計	24,954,640	27,943,744

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,106	951,106
資本剰余金	1,676,950	1,695,421
利益剰余金	29,908,859	31,436,503
自己株式	△801,250	△791,040
株主資本合計	31,735,665	33,291,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,531	486,712
繰延ヘッジ損益	△3,026	△55,318
土地再評価差額金	△641,184	△641,184
為替換算調整勘定	372,418	715,755
その他の包括利益累計額合計	105,739	505,964
非支配株主持分	109,802	122,909
純資産合計	31,951,207	33,920,864
負債純資産合計	56,905,848	61,864,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)
売上高	28,717,863	37,162,614
売上原価	23,838,603	30,891,658
売上総利益	4,879,259	6,270,956
販売費及び一般管理費	3,083,039	3,387,156
営業利益	1,796,220	2,883,799
営業外収益		
受取利息	6,901	13,924
受取配当金	12,561	15,305
為替差益	—	80,907
受取賃貸料	25,413	18,874
その他	39,257	42,182
営業外収益合計	84,134	171,194
営業外費用		
支払利息	5,194	22,548
為替差損	37,752	—
支払補償費	—	24,548
その他	6,343	1,289
営業外費用合計	49,289	48,386
経常利益	1,831,064	3,006,607
特別利益		
固定資産売却益	1,258	1,219
特別利益合計	1,258	1,219
特別損失		
固定資産除売却損	1,387	2,443
投資有価証券売却損	765	—
特別損失合計	2,152	2,443
税金等調整前四半期純利益	1,830,171	3,005,382
法人税、住民税及び事業税	611,081	885,569
法人税等調整額	△787	91,517
法人税等合計	610,293	977,086
四半期純利益	1,219,877	2,028,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,499	6,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,212,378	2,021,601

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)
四半期純利益	1,219,877	2,028,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,840	109,181
繰延ヘッジ損益	△10,281	△52,292
為替換算調整勘定	192,885	343,336
その他の包括利益合計	227,443	400,225
四半期包括利益	1,447,321	2,428,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,436,073	2,415,392
非支配株主に係る四半期包括利益	11,248	13,128

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,830,171	3,005,382
減価償却費	370,041	339,062
のれん償却額	9,564	9,564
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,382	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,145	49,928
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,760	△18,400
受取利息及び受取配当金	△19,463	△29,230
為替差損益(△は益)	4,017	△64,603
支払利息	5,194	22,548
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,247	△1,142
投資有価証券売却損益(△は益)	765	—
売上債権の増減額(△は増加)	357,516	△1,653,323
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,269,564	382,168
仕入債務の増減額(△は減少)	978,218	△230,332
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,485	593,204
前渡金の増減額(△は増加)	935,250	893,242
前受金の増減額(△は減少)	759,548	3,001,020
その他	△288,977	22,991
小計	2,735,289	6,322,097
利息及び配当金の受取額	13,363	23,922
利息の支払額	△5,204	△22,298
法人税等の支払額	△672,825	△525,718
法人税等の還付額	2,261	465
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,072,885	5,798,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,588,077	△3,096,588
定期預金の払戻による収入	41,487	108,135
有形及び無形固定資産の取得による支出	△324,148	△512,562
有形及び無形固定資産の売却による収入	3,721	3,030
投資有価証券の取得による支出	△604,959	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	306,090	—
保険積立金の払戻による収入	88,330	—
その他	△8,214	252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,085,769	△3,497,733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	388,250	△1,224,300
長期借入金の返済による支出	△118,072	△8,330
配当金の支払額	△506,884	△493,313
リース債務の返済による支出	△14,684	△16,172
自己株式の取得による支出	△278	△393
非支配株主への配当金の支払額	△23	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△251,694	△1,742,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	104,919	228,008
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,159,659	786,212
現金及び現金同等物の期首残高	16,446,632	14,567,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,286,973	15,353,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当会計基準等の適用による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりです。

・顧客への商品及び製品の販売

海外にて、複数の設備を組み合わせて稼働する設備の一部を受注する案件において、当社納入設備の機能確認が完了していても、設備全体の稼働確認が完了するまで収益を認識しないこととしておりましたが、当社納入設備の機能確認が完了した時点で収益を認識することとしております。

当第2四半期連結累計期間には該当する取引がなかったため、損益に与える影響はありません。

・有償受給取引

顧客に実質的に買い戻す義務が生じており、当社に支配が移転していないと判断される有償受給材の期末棚卸高について、従来は流動資産の「商品及び製品」「原材料及び貯蔵品」に含めて表示しておりましたが、「その他」に含めて表示しております。

この結果、流動資産の「その他」が31,804千円増加、「商品及び製品」が15,663千円減少、「原材料及び貯蔵品」が16,140千円減少しております。

・有償支給取引

従来は、有償支給した支給品について棚卸資産の消滅を認識しておりましたが、当社が実質的に買い戻し義務を負っていると判断される有償支給取引について、棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について有償支給取引に係る負債を認識しております。

この結果、流動資産の「原材料及び貯蔵品」が8,612千円、流動負債の「その他」が8,612千円それぞれ増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	20,841,425	2,132,813	1,946,475	3,525,020	28,445,735	272,128	28,717,863
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,207,840	212,777	36,646	474,156	3,931,421	30,848	3,962,270
計	24,049,266	2,345,591	1,983,122	3,999,177	32,377,156	302,976	32,680,133
セグメント利益	1,142,149	51,695	197,962	397,701	1,789,509	38,814	1,828,323

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	1,828,323
セグメント間取引消去	32,907
未実現利益の調整	△65,010
四半期連結損益計算書の営業利益	1,796,220

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	23,185,014	2,421,190	2,246,548	9,075,454	36,928,207	234,407	37,162,614
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,292,278	379,216	12,766	774,299	5,458,560	38,668	5,497,229
計	27,477,293	2,800,406	2,259,314	9,849,753	42,386,767	273,076	42,659,844
セグメント利益	1,611,377	124,138	238,916	995,573	2,970,005	19,082	2,989,088

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	2,989,088
セグメント間取引消去	△80,070
未実現利益の調整	△25,218
四半期連結損益計算書の営業利益	2,883,799

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に変更しております。

当該変更による売上高およびセグメント利益に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
市場分野別							
自動車・自動車部品	16,348,426	2,201,872	1,470,005	7,675,016	27,695,320	142,746	27,838,066
電気機器	3,095,078	45,519	255,908	404,235	3,800,743	7,885	3,808,628
機械	828,929	103,624	24,482	534,437	1,491,473	5,949	1,497,422
商業	718,708	34,841	73,711	38,916	866,176	77,807	943,984
石油・化学	860,074	6,670	24,780	7,593	899,119	—	899,119
ゴム	309,264	6	266,286	4,075	579,632	—	579,632
金属製品	228,152	—	125,858	2,464	356,475	—	356,475
その他	796,380	28,655	5,515	408,713	1,239,265	19	1,239,285
顧客との契約から 生じる収益	23,185,014	2,421,190	2,246,548	9,075,454	36,928,207	234,407	37,162,614
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,185,014	2,421,190	2,246,548	9,075,454	36,928,207	234,407	37,162,614

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。